

輝く力 国際科学オリンピック

化学

世界に通用する学者育成も

化学グランプリの受験申し込みが始まった。参加費は無料なので、この記事を見て少しでも興味が湧いたならぜひ受験してほしい。化学グランプリは、全国の中・高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高めること、加えて世界にも通用する若い化学者を育成することを目的として、1999（平成11）年より開催しており、約4千人の生徒が受験している。

今年は第一次選考を7月17日（月）海の日に、全国65以上の会場にてマークシート方式で実施する。問題の内容は大学院レベルともいわれているが、解答は高校の教科書を理解していれば解けるように工夫されており、ある意味、化学的読解力の試験ともいえる。導入部分は中学生でも解答可能なようにしている。化学は暗記の学問ではない。教

科書に書かれていることの真の姿を、研究者目線で問題を作っており、ぜひ勉強の参考にしてほしい。

さらに、第一次選考の上位者約80人に対し、第二次選考を合宿形式で実験と考察の試験を行っている。総合成績上位5人に大賞を、以下金・銀・銅賞を授与している。

国際化学オリンピックは1968（昭和43）年に東欧3カ国（ハンガリー、旧チエコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会である。現在では例年約80カ国から300人以上の生徒が参加しており、昨年の中国・天津大会では、日本代表生徒4人全員が金メダルを受賞した。過去問を含め、詳しい内容はホームページ（<https://igoc.jp>）に載っているののでぜひ見て参加してほしい。



秋田大学で行われた化学グランプリ2022の二次選考

（三好徳和・日本化学会化学グランプリ・オリンピック委員会委員長、徳島大学教授）